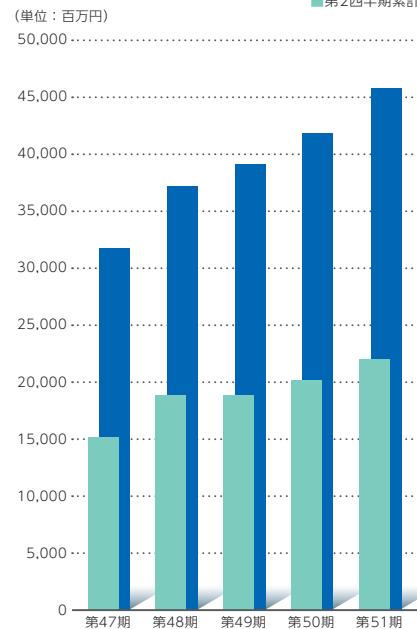


業績ハイライト(連結)

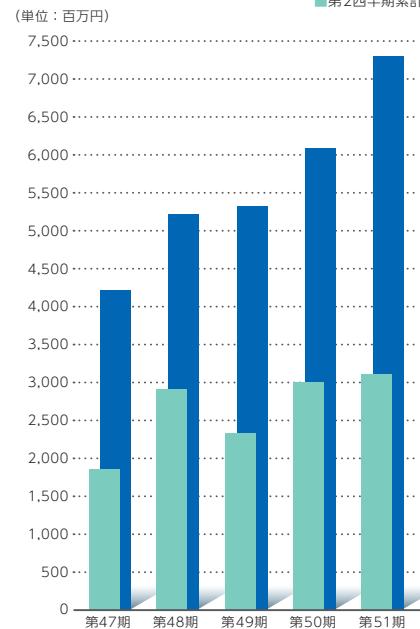
区分	期別	第47期 (2016年3月期)	第48期 (2017年3月期)	第49期 (2018年3月期)	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)
売上高(百万円)		31,803	37,194	39,065	41,856	45,754
経常利益(百万円)		4,205	5,208	5,318	6,090	7,303
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		2,567	3,087	3,361	3,838	4,659
1株当たり当期純利益(円)		230.97	277.78	302.46	345.39	419.24
総資産(百万円)		52,958	55,537	57,629	60,302	63,397
純資産(百万円)		24,862	27,121	29,633	32,334	35,768

※当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2016年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

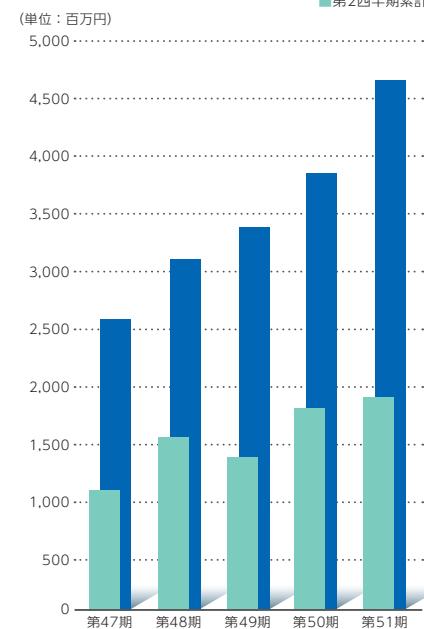
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当期の業績について

当連結会計年度の連結売上高は45,754百万円(前期比9.3%増)、営業利益7,285百万円(前期比20.3%増)、経常利益7,303百万円(前期比19.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,659百万円(前期比21.4%増)となり、7期連続の増収、6期連続の増益となりました。

ユニットハウスのレンタルについては、首都圏を中心に継続して行われている再開発工事などによる需要を受け、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移し、連結売上高は前期比9.9%増となりました。東京オリンピックが延期されたことによる影響については限定的との見通しもありますが、今後の動向を注視してまいります。

ユニットハウスの販売については、主に一般事業法人向けに店舗や、事務所の販売を行う本設販売が好調に推移いたしました。提供できる建築物のバリエーションが広がり、動物病院や工場の福利厚生棟を受注するなど、様々な用途で当社のモバイルスペースが活用されており、連結売上高は前期比9.0%増となりました。

トラックルームのレンタルについては、設備やワークスペースを設けた店舗を実験的に開設する一方で、継続してWEB広告の強化等による収益力の向上を図るなど、事業拡大に取り組んでおります。新規出店も進めており、連結売上高は前期比8.8%増となりました。

旺盛なレンタル需要に対応するため、レンタル資産への投資が前期と比べ大きく増加するなど、設備投資の総額は11,489百万円となりました。総資産は前期末に対し3,094百万円増加し63,397百万円となりましたが、自己資本比率は56.4%となっており、財政状態も引き続き安定して推移しております。

今後とも、ユニットハウスの特長を活かしたニーズの開拓と、快適性や機能性を向上させる新規製品開発、製品改良を行うとともに、事業開発に取り組み、業績向上に努めてまいります。



ER動物救護センター



管理棟



道の駅カフェ



U-SPACE流山おおたかの森2号店